

西別院 だより

報 恩 講 号



第15回 小樽別院百日参拝記念

平成八年度親鸞聖人報恩講は10月12日～16日です。みんなでお詣りしましょう。

報 恩 講

本願寺小樽別院

10月13日 9時	双葉女子学園参拝	9月28日	仏教婦人会 報恩講
10月14日 10時30分	三園々児参拝	9月29・30日	緑説教所 報恩講
10月13日 19時	御伝鈔上巻拝読	10月25・26日	新光説教所 報恩講
10月15日 19時	御伝鈔下巻拝読	11月2・3日	奥沢説教所 報恩講
10月16日 12時	おとぎ	11月末日予定	仏教壮年会 報恩講

10月12日(土)～17日(木)までの月忌詣りはお休みさせていただきます。

報恩講さん

輪番 藤澤實晟

蓮如上人五百回忌御遠忌が迫り(平成十年)上人が私達を励げまし、念仏を味わえとお諭し下さいました力強いお言葉を一言／＼改ためて深く味わいご恩德をお慕い申し上げる別院報恩講莊嚴にして厳肅に務めさせて頂く所存であります。

さて、本年八月十八日の読売、道新、及びテレビ等で大きく放送されました「母ゴリラの愛、人間の子を守った」愛情深いことと、三才男子誤って動物園のゴリラの囿の中に落下、見物客の悲鳴、男児の泣き叫び。の中、八才の雌ゴリラが男児を抱き上げ飼育係の出入口のそばまで運んで行った。自分の背には子ゴリラを背負いながら……

男児は頭に大怪我。雌ゴリラが助け上げて呉れた優しさ、本能を發揮し母性愛の行道の報道。

皆さん、此の報道をどの様に見聞されましたでしょうか。よく／＼考えさせざるをえない問題です。

人は「万物の霊長だ」すべてのものの

かしら「多智知恩だ」多くの智慧があり恩に報いる事が出来る等の言葉を聞いて知っている。

而し、昨今その言葉は有言不実行と言わざるを得ない生活ではないでしょうか。人間関係の言葉を再考させられます。ゴリラの行動、蓮如上人御一代記聞書に「行くさきむかひばかりみて、あしもとをみねば踏み、かぶるべきなり、人の之ばかりみて、わが身のうへのことをたしなまずは一大事たるべきと仰せられ候」のお言葉、又「人のわろきことはよく／＼みゆるなり。わが身のわろきことはおぼえざるものなり……心中あらたむべし」云々と明記されて居られます。

私達、呉々も此のお言葉を銘記、心に深く刻みつけた日々を送らせて頂き、真実の教、真のみ法に目覚め自覚させて頂く報恩感謝をさせて頂きましよう。

これが大切な報恩講です。

合掌

此の度、永代経で懇志ご上納賜り厚く御礼申し上げます。

無量閣(新しい納骨堂)の御申し出をお待ち致しますが再建の為、ご不便をお懸して居りますお許し下さい。

平成八年十月十二日お遠夜より十六日満日中まで

宗祖親鸞聖人報恩講法要予定案内

日	時	法要・行事	布教(本堂)
12日(土)	13時30分 6時30分	○初遠夜(大師影供作法) ○晨朝(正信偈草譜六首引) 和讃 彌陀成仏	布教一席 藤野師
13日(日)	9時00分 13時30分 18時00分	○日中(読経作法・阿弥陀経) ○双葉女子学園参拝 ○遠夜(大師影供作法) ○初夜(正信偈三首引) 御伝鈔上巻拝読 祖徳讃仰(30分)	崇敬法中(一名) 布教一席 安藤師
14日(月)	6時30分 10時30分 13時30分 18時00分	○晨朝(正信偈草譜六首引) 和讃 彌陀成仏 ○日中(読経作法・観無量寿経) ○三園合同参拝 ○遠夜(奉讃大師作法) ○初夜(正信偈三首引) 祖徳讃仰(30分)	布教一席 安藤師 布教二席 安藤師 崇敬法中(一名) 布教一席 安藤師
15日(火)	18時00分 13時30分 6時30分	○晨朝(正信偈草譜六首引) 和讃 彌陀成仏 ○日中(読経作法・無量寿経) ○遠夜(五會念仏作法) 御俗鈔拝読 ○初夜(正信偈三首引) 御伝鈔下巻拝読 祖徳讃仰(30分) 祖師の夕べ ○後夜勤行	布教一席 安藤師 布教二席 安藤師 崇敬法中(一名) 布教一席 安藤師
16日(水)	6時30分 10時30分	○晨朝(正信偈草譜六首引) 和讃 五十六億 ○満日中(正信念仏偈作法) 代表焼香・御挨拶	布教一席 安藤師 布教一席 安藤師

布教 本願寺派布教使 安藤龍昭師 三重県桑名市・安養寺住職



第十五回

晨朝百日参拝
達成者のお知らせ

去る八月八日、平成八年度晨朝百日参拝が無事終了致しました。

恒例となりました百日参拝も、今年で十五回目を迎え、二十五名の方々が百日参拝を達成されました。

又、十回以上、百日参拝を達成されました十四名の方々が、永年参拝者として藤澤實晟輪番より表彰を受けました。

皆様おめでとうございます。

※西別院のお晨朝は年間を通じて毎朝六時半より行われています。

お誘い合わせの上、多数御参拝下さい。

「連続百日参拝達成者」 10名

- | | | |
|-------|-------|------|
| 川崎正吉 | 前田民子 | 中條国子 |
| 平位京子 | 悦永アサエ | 加藤福恵 |
| 長谷川ユキ | 荒木美津子 | 辻初江 |
| 三浦幸子 | | |

「百日参拝達成者」 15名

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 三井タミ | 宮本みい | 佐々木アキ |
| 辻井富士男 | 佐野緑 | 安田芳枝 |
| 清水和子 | 鳴田アイ子 | 岩船寿 |
| 倉田アヤ子 | 長谷部和子 | 鈴木富美子 |
| 佐野清一 | 平木富三枝 | 福川ヨシ子 |

「永年参拝表彰受賞者」 15名

- | | | |
|-------|-------|------|
| 川崎正吉 | 辻井富士男 | 宮本みい |
| 三井タミ | 佐々木アキ | 辻初江 |
| 中條国子 | 平位京子 | 三浦幸子 |
| 嶋田アイ子 | 長谷川ユキ | 加藤福恵 |
| 安田芳枝 | 悦永アサエ | |

(順不同・敬称略)

<p>全葬連 加盟店 全霊協</p> <p>小樽典礼(株)</p> <p>TEL27-1801 稲穂3-4-1</p>	<p>葬儀</p> <p>株式会社 博禮社</p> <p>〒047 小樽市稲穂1丁目10番1号(高大通り十字街高架角) 電話(代表)23-0246番 ■ 24時間営業 ■</p>	<p>NT</p> <p>田舎御引立を賜り、誠に有難うございます。 今後共よろしくお願い致します。</p> <p>総合燃料・長府ボイラー 管工事業 北海道許可登録703号</p> <p>高橋燃料商事(株)</p> <p>小樽市稲穂2丁目7番18号 ☎ 22-2188 FAX 33-7800</p>	<p>生花を使って花祭壇</p> <p>札樽葬祭(株)</p> <p>TEL 34-0444 ワカマツ1-9-10</p> <p>花の店 カトレア(有)</p> <p>TEL 23-6487 奥沢1-17-3</p>
--	--	--	--

和を以って貴しとなし、さからふことなきを、宗とせよ

ご 案 内

小樽別院

☎0134-22-0744
お晨朝 毎朝 6時30分

常 例 布 教

毎月7日～11日巡回布教使
13日～16日巡回布教使

同 事 食

毎月8日 正午より

仏教青年会

毎月1回開催 午後7時より

仏教婦人会

毎月27日 正午(おとときあり)

仏教壮年会

毎月6日 午後7時

アソカ会

毎月16日 正午

おつとめ教室

毎月2回 火曜日 午後1時30分

ボーイ・カブスカウト

毎月3回 土曜日 午後2時より

日曜仏教講座

毎月第1・3日曜 9時より

19 日 講

毎月19日 正午より

各説教所の案内

- 奥沢説教所 樹心会 5日午後7時より
唯信講 10日正午より
- 若竹説教所 彰心会 7日午後7時より
- 緑 説 教 所 無量講 9日午後6時より
- 新光説教所 法友会 13日午後6時より

法事のABC

◎ 故人の意志を受け聞法に励む

お寺にお参りされている方であれば「永代経(えいたいきょう)」という言葉は、よく知っておられるでしょうが、最近では「永代経」って、どんなお経ですか」と、お経の一つだと思っている方もいるようです。

永代経とは、「永代読経(えいたいどくぎょう)」の略で、「末長く(永代に)お経が読まれる」という意味です。そこからまた「お寺が存続し、み教えが繁盛し続けるように」という願いが込められた意味にもなります。つまり①お寺が護持されること②そこで子や孫が代々にわたってみ教えを聞き慶ぶこと—この二つが「永代経」の心だと言っています。

そうした願いと志(こころざし)を持って、ある程度まとまったお金や、仏具などをお寺に納めるのが「永代経懇志」であり、その報恩の行為を受けて、お寺が開く法要が「永代経法要」であるわけです。

したがって、「永代経を上げる」という場合の「永代経」は「永代経懇志」のことですし、「永代経が勤まる」といえば「永代経法要」をさしています。この法要は、「報恩講法要」に次いで盛大に勤めるお寺が多く、おおむね年一、二回、春や秋に行われます。また懇志については、故人の追慕から納められる場合がほとんどで、表書

きには「永代懇志」などの文字の右肩に、故人の法名を記したりします。これは「故人のために納める」というのではなく、故人の「永代にみ教えが伝わるように」との遺志を受けた施主が「故人になり代わって納める」からです。くれぐれも「故人の追善供養」と誤解しないで下さい。

さらに、いったん納めてしまえば「責任が果たせた」と考えるのも困ります。ある方など「永代経を納めましたので、お参りに行かなくても大丈夫」とお経を上げて下さるので安心です」と話していましたが、これでは永代経も台なしです。み教えを私に伝えて下さったご先祖の遺徳を偲び、何より私自身が聞法に励んで、慶びを子孫に伝えていく—これでこそ永代経といえるのです。



ポイント

◎ 寺院護持とみ教えの繁盛を願って「永代経懇志」を納めよう。
◎ 私が聞法してこそその永代経。

『仏事のイロハ』より